

2×4(ツーバイフォー)工法や、床先行の根太なし工法の床下張材を雨や汚れから守り、墨出し線が見える半透明養生シート。

THE イージーコートRE

床下張材養生シート



特徴1

作業性を追及した、優れた施工性。

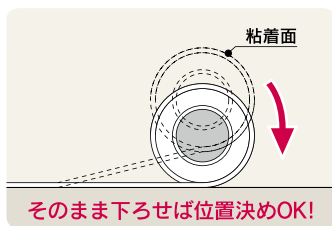
- 引き出しが軽く、力を必要としません。短時間で施工が可能になります。
- 粘着面が外側にくる『逆巻き加工』で、位置決めが簡単に行えます。



特徴2

養生に要求される高い機能を実現。

- シート裏面の粘着剤でしっかり合板に密着。雨水の浸入や汚れを防ぎます。
- 表面は、滑り止め効果に優れた細かな凹凸のエンボス加工となっています。
- 墨出し線などの確認が容易にできる、透明仕様のシートです。



特徴3

『剥がす』と『捨てる』も大切な機能。

- 養生後は簡単に剥がすことができます。
- シートが薄いため、小さく丸めて廃棄することができます。



イージーコートRE 規格

呼称	コード	規格	単品価格(本)	入数	バラ
イージーコートRE30	ECRE30	1m×30m	¥12,700/巻	4巻入	○ 1巻単位
イージーコートRE50	ECRE50	1m×50m	¥20,900/巻		

※バラ出荷対応いたします。ただし1オーダーに正梱が含まれている場合についても梱包手数料として、¥2,000別途申し受けます。

●掲載の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。／●商品色は印刷により実際の色とは異なって見える場合があります。 価格に消費税は含まれていません。

●お問合せ



フクビ化学工業株式会社

本社／福井市三十八社町 33-66 ☎(0776) 38-8013 〒918-8585
東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332

札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(03)5742-6301
神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010
静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315 岡山 ☎(086)232-0601
広島 ☎(082)246-7211 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220
沖縄 ☎090-7383-5030

2022年7月価格改定版

<https://www.fukuvi.co.jp>

[PDF/A086] 2022. 8 ⑤

床下張材養生シート **イーザーコートRE**

施工手順

⚠ 注意

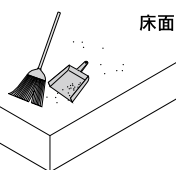
- 本製品を施工する際はシートを引き出した後に一旦シートを引っ張る力を緩めて、合板の上に施工してください。引っ張られた状態で貼り付けると剥がれやすくなります。
- 合板の表面状態、貼り付け方や貼り付け後の状況によっては、シートを剥がした際に、糊残りや合板の表面が剥がれる場合があります。
- 本製品はシワが入りやすいため、しっかりと合板の全面に圧着してください。合板への圧着が不足していると、シートが剥がれ、漏水するおそれがあります。
- シートが破れた場合は必ず補修(シートの重ね貼り)をおこなってください。

手順 1 ●貼り付け床面の清掃

貼り付け面のゴミ、ホコリを取り除きます。

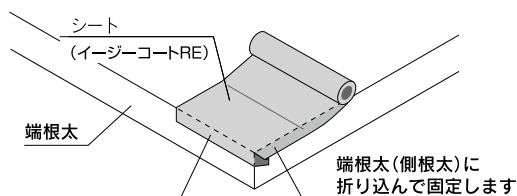
ポイント

- 貼り付けは下地が乾燥した状態で行ってください。
- 貼り付け面に釘や木片(合板のささくれ)などの突起がないことを確認してください。(シートの破れの原因になります)



手順 2 ●シートの貼り始め

シートの貼り始め部分とシートの端部は端根太(側根太)に固定します。

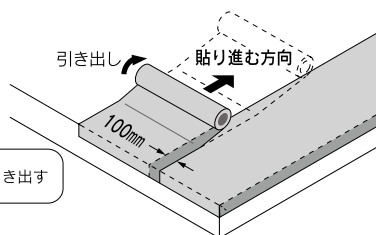


ポイント ●この時、まっすぐに貼り進めるように、位置を確認してください。

手順 3 ●シートの引き出し

シートをまっすぐに3m程度引き出し、重ね合わせは100mm程度を確保します。

また、シートはできるだけゆっくり引き出し、シートに余計な張力がかからないようにします。



ポイント ●シワが入っていないこと、曲がりなどが無いことを確認してください。

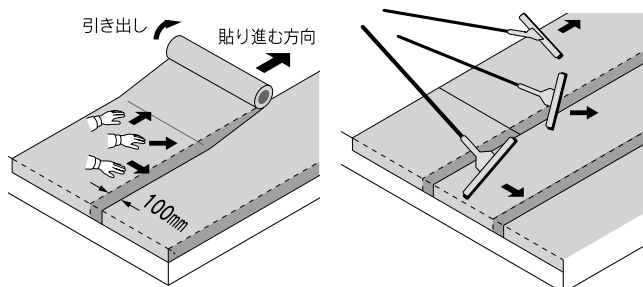
手順 4 ●シートの貼り付け

位置を確認しながら、3m程度引き出したシートの全面を手でしっかり押さえながら貼り付けます。(手順3・手順4を繰り返して貼り進めます。)

貼り終わったら、水切りモップやモップなどでシート全面をしっかりと圧着してください。

中から外へ空気を押し出し圧着する。

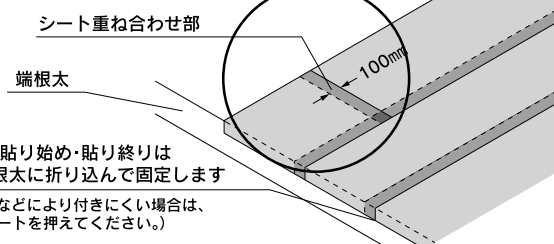
器具の金具部でシートを傷つけないように注意して下さい。



- ポイント**
- シートに張力がかかり、引っ張られた状態でないことを確認して(いったんシートの張力を緩めて)貼り付けます。
 - 押さえつける際にシワや空気が入らないようにしてください。(シワやフクレなどがあると、後で剥がれてくる場合があります)
 - シワや空気が入ってしまった場合はなるべく空気を外へ押し出し、シワ部分はよく圧着してください。

手順 5 ●つなぎ目、貼り終り

シートをつなぐ場合は、100mm程度重ね合わせます。貼り終りは、貼り始めと同様に端根太(側根太)に固定します。



シートの貼り始め・貼り終りは必ず、端根太に折り込んで固定します
(防虫処理などにより付きにくい場合は、平板でシートを押えてください。)

ポイント ●重ねた部分もしっかり押え、密着させてください。

⚠ 保管上の注意 ●現場で保管する場合は、水で濡れないように注意してください。

- ⚠ 施工時の注意
- イーザーコートREは床下張材専用ですので、床下張材以外に使用しないでください。
 - 気温が氷点下の場合、施工をしないで下さい。
 - 撥水コート剤など、薬剤を塗布した合板にはイーザーコートREを使用できません。イーザーコートREが貼り付かないことがあります。貼り付け面に薬剤を塗布する場合はイーザーコートREを剥がした後に行ってください。
 - 施工前に床面のゴミやホコリを取り除き、釘などの突起物がないことを確認してください。墨出しは必ずイーザーコートREを貼る前に行ってください。
 - 施工は必ず貼り付け面が完全に乾いている時に行ってください。貼り付け面が乾いていない時の施工は、イーザーコートREが付きにくくなります。施工前日に雨が降った場合や、施工中に雨が降ってきた場合には作業を中止し、貼り付け面が完全に乾いたことを確認してから作業をしてください。
 - 本製品はしっかりと合板の全面に圧着してください。合板への圧着が不足していると、シートが剥がれ雨水が浸入するおそれがあります。
 - イーザーコートREに張力がかからないようにシート全面を手でしっかりと押さえながら、シワ・空気が入らないように貼り付けてください。シワや空気が入っていると後で剥がれることがあります。
 - 貼り始め端部や貼り終わり端部および幅方向の両端部は、合板小口面から雨水が浸入しないように側面に長めに折り込んで固定してください。
 - 柱や配管廻りでイーザーコートREをカットする場合は、切り口部は強めの力で木目の凹凸に沿うように密着させてください。雨がかかりやすい箇所には、出来るだけこの上に重ねてシートを貼り、配管などの突起部分には、立ち上がるように貼り付け、雨水を浸入させないでください。

- イーザーコートREどうしの重ね合わせは100mm程度を確保してください。環境条件(強風・冬季の霜など)により、重ね合わせ部が密着しにくい場合がありますが、その場合は養生テープを貼るなどして密着させてください。
- 貼り終わったらモップ等で全面をまんべんなくしっかりと押えてください。貼り付け面に防虫処理が施されている場合はイーザーコートREが付きにくいので、平板で端部を押さえてください。
- イーザーコートREが破れた場合は必ず補修(シートの重ね貼り)をおこなってください。
- イーザーコートREの表面に、降雪、霜、降雨後の凍結などが発生した場合は、表面が滑りやすくなるため作業を中止してください。表面状態の回復を確認した後、作業を行ってください。
- 製品に継ぎ目が入っている場合がありますが、機能上の問題はございません。
- 貼り付け面が乾いていない状態で施工された場合や合板小口などに雨水が浸入した場合、合板にカビが生えたり、合板が乾燥する際に水染み跡が残ることがあります。
- 床仕上げ材の施工前には必ずイーザーコートREを剥がしてください。
- イーザーコートREは丁寧に剥がしてください。合板表面が剥がれたり、合板に接着剤が残ることがあります。
- 合板の表面状態、貼り付け方や貼り付け後の状況によっては、イーザーコートREを丁寧に剥がしても、糊残りや合板の表面が剥がれる場合があります。